

## 香芝市の学校の適正規模・適正配置の基準に関する附帯意見（案）

令和7年11月26日

- 1 基準「3 (2)」の、望ましい学級規模としては、小学校、中学校ともに1学級当たり35人までを基準とするが、特に小学校1年生はより少人数が望ましいと考えるため、市の財政的な負担や空き教室の状況、教員の確保等を踏まえた上で望ましい学級規模について検討されたい。
- 2 基準「4」の、望ましい教育環境を確保するために検討を開始する際には、学校の再編の検討に先んじて、学区の再編や部分的な校区の選択制等について検討を進められたい。
- 3 学校施設、設備については、児童生徒や教職員が生活の多くの時間を過ごすことや、地域の防災等の拠点としての役割も担うものであることから、市のすべての地域で偏りなく整備していくことが望ましい。財政面も踏まえて、学校施設、設備の整備と併せて、地域資源として有効に活用する方法を検討されたい。
- 4 香芝市の望ましい教育環境を実現していくためには、家庭と地域と学校の協働によって、地域全体で子どもたちを育てる環境づくりを進めることが重要であり、一方通行ではなく「ともにある」関係であることを念頭に進められたい。